

公表

事業所における自己評価総括表【放課後等デイサービス】

○事業所名	令和6年 9月 1日 ～ 令和6年 10月 31日			
○保護者評価実施期間	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○保護者評価有効回答数	令和6年 9月 1日 ～ 令和6年 9月 30日			
○従業者評価実施期間	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価有効回答数	4			
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制による個別療育に特化	午前と午後にクラスを分け、定員を5名程度の少数にすることで、1対1～2とする個別療育を実施できる。	定型発達を十分に理解したうえで、発達支援についてより一層の知識と技術の向上を目指す。
2	様々な発達特性児への支援	基本的には支援学校や支援クラス在籍児の支援に特化し、障害の特性に関わらず受け入れをしている。また、それに伴って支援方法や支援技術をスタッフ間で共有している。	行動障害研修の受講を基本とし、様々な研修や自己研鑽にて支援の幅を広げていく。
3	充分なモニタリングやケア会議などでの情報共有	しっかりと会議にも時間を取り、振り返りとこの先への予測を的確に実施し、プログラムを立案している。そして支援の方法や情緒面のフォローなどもスタッフ間で共有し療育に取り組んでいる。	技術や知識の向上、獲得に応じて、会議やプログラム立案に関わるスタッフを増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者会等の開催をしていない	保護者会に関して… 様々な考えを持つ保護者が多く、関わるのが決してプラスに働くことばかりではないため、あえて開催していない。家族の交流を希望される方には別の方法で情報伝達している。	ペアレントトレーニングに関して… 保護者の方とお話をする中で必要と感じればハナミズキ等を紹介している。基本的には来降所時や相談希望時に家族と話をする時間を設けている。
2	1日を午前と午後2クラスに分けたサービス提供時間（休日も長時間サービスは実施していない）	個別療育を主体としたいため、午前クラスと午後クラス各3時間という短いサービス提供時間となっている。	保護者のニーズとしては休日は長い時間の希望をされる方もいるが、個別療育特化というご理解をいただきたい。
3	地域との交流が限られている	立地場所として、地域住民が多いわけではないため、簡易に交流を図ることが難しい。	行事（外出）では、地域の社会資源を積極的に利用していく。

公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	障害支援センター桜			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 1日		～	令和6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制による個別療育に特化	平日午前を未就学児クラスとし、定員を5名程度の少数にすることで、1対1～2とする個別療育を実施できる。	定型発達を十分に理解したうえで、発達支援についてより一層の知識と技術の向上を目指す。
2	個々に対する細かな個別療育案の立案	難しかった内容や、ステップアップができる内容などスタッフ内で情報共有し、療育案に反映させている。	より掘り下げた練習を実施していくための療育課題の検討をしていく。
3	小集団で社会性を養う	小集団で社会性を学ぶことで、園での生活における必要な社会性を子どもの特性に応じて練習している。	スタッフ間に差が出ないように、社会性獲得のための支援方法を一層学んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者会等の開催をしていない	保護者会に関して… 様々な考えを持つ保護者が多く、関わるのが決してプラスに働くことばかりではないため、あえて開催していない。家族の交流を希望される方には別の方法で情報伝達している。	ペアレントトレーニングに関して… 保護者の方とお話をする中で必要と感じればハナミズキ等を紹介している。基本的には来降所時や相談希望時に家族と話をする時間を設けている。
2	午前のみのサービス提供時間	個別療育を主体としたいため、食事トレーニングも含んだ3時間という短いサービス提供時間となっている。また、保護者支援にも重きを置いているため、家族送迎のみとしている。	基本的に家族との登所とするが、降所時には同一法人のこども園以外でも、近隣の園への送迎を検討していく。
3	地域との交流が限られている	立地場所として、地域住民が多いわけではないため、簡易に交流を図ることが難しい。	行事（外出）では、地域の社会資源を積極的に利用していく。